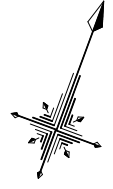
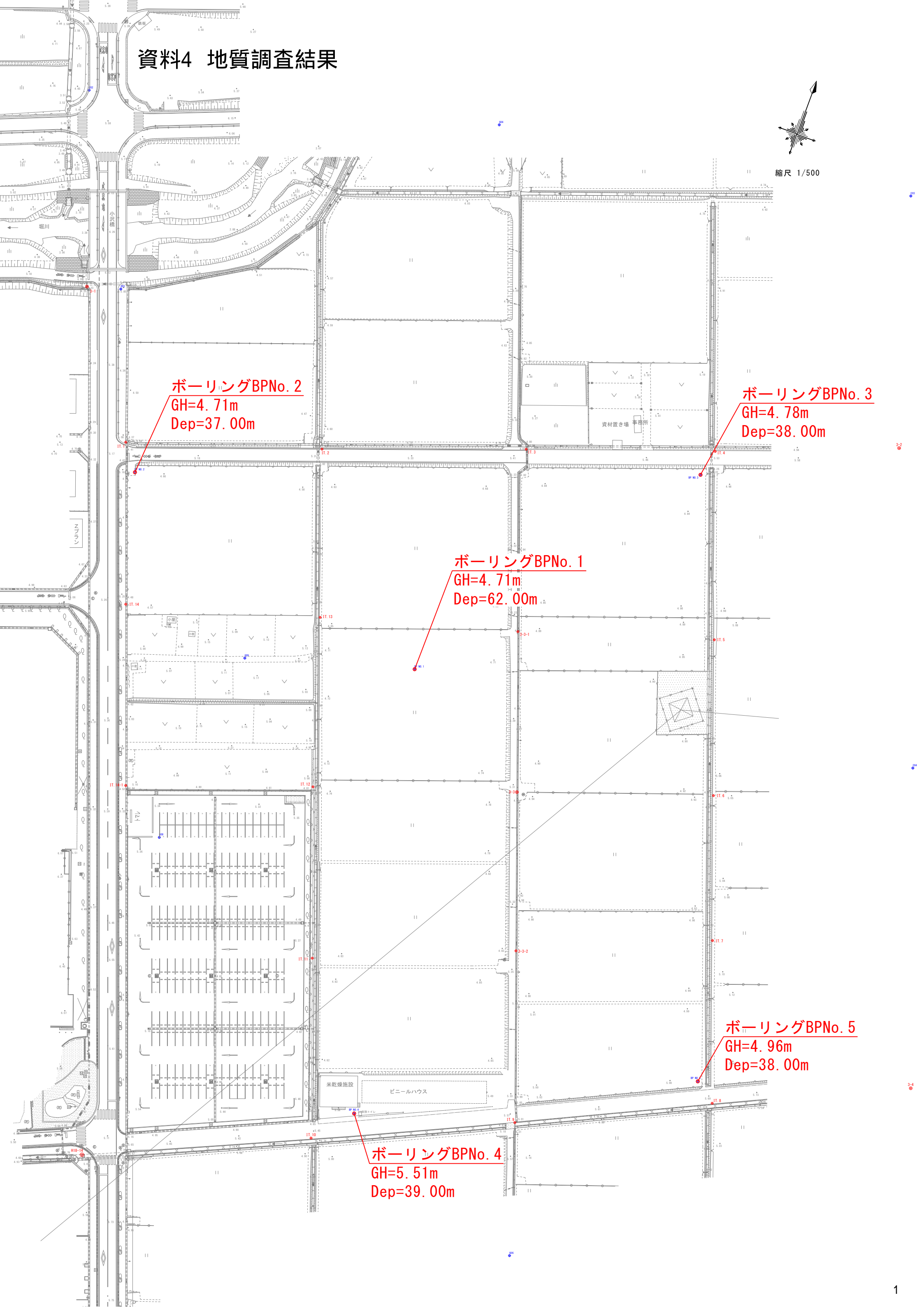


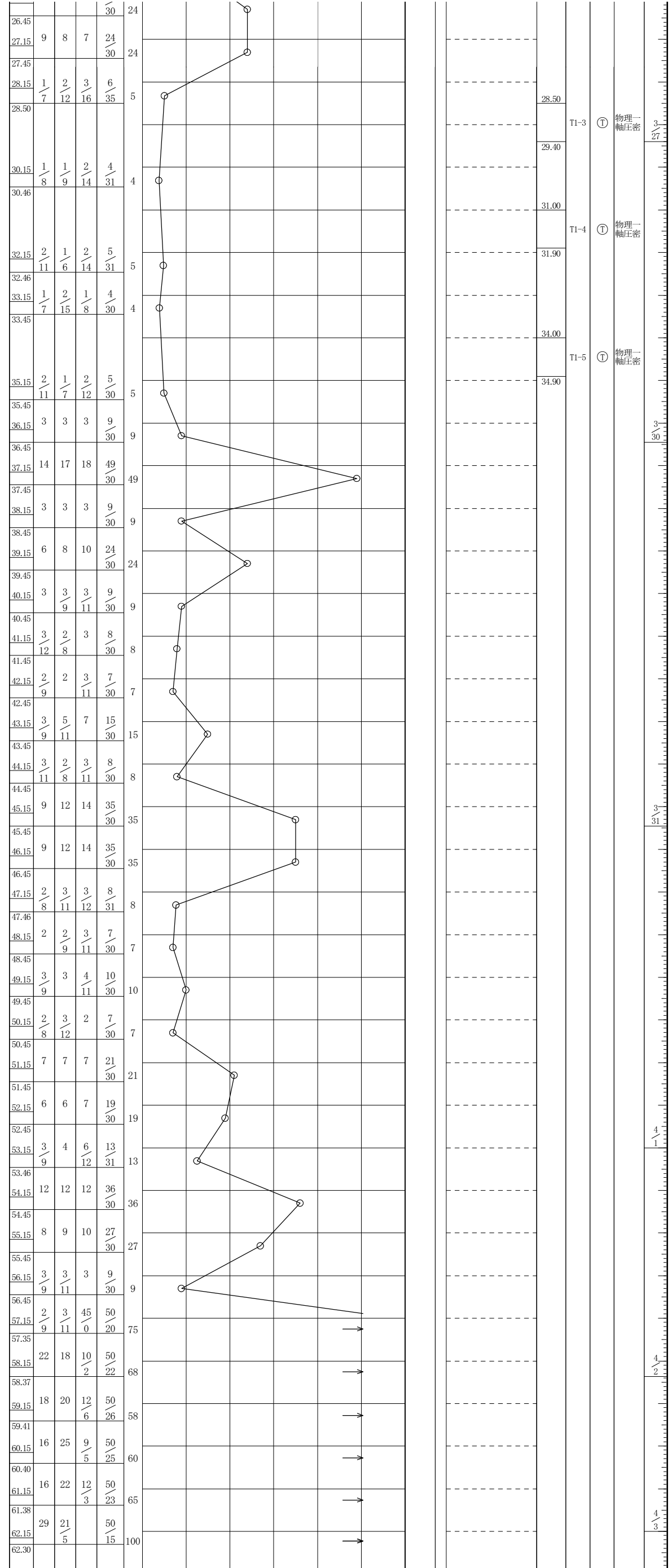
資料4 地質調査結果



縮尺 1/500



27	-23.29	3.00	28.00	灰質シルト	明灰	いもの	非常に均質。縮りが良い。低組成。26.0m以浅は暗灰色シルトを混っており、やや柔らかい。
28							
29							
30							
31							
32				粘土	暗灰	やや軟らかいもの	概ね均質。含水中位で粘性中位。全体に貝殻片を少量混る。
33							
34							
35	-30.74	7.45	35.45				
36	-31.74	1.00	36.45	砂質シルト	暗灰	固いもの	砂分を30~40%混るシルト。含水中位で粘性中位。全体に貝殻片を混る。36.45m以深に層厚5cm程度の細砂層を数枚挟む。
37				砂	灰	密な	均質な粗砂。少量のシルトを混る。
38	-33.29	1.55	38.00	砂質シルト	暗灰	やや軟らかいもの	砂分を30~40%混りシルト。含水中位で粘性中位。
39	-33.94	0.65	38.65	シルト混り砂	暗灰	中位の	シルト分を10%程度混る細~中砂。38.8mに貝殻片を混る。39.6m以深はシルト分の混りが多い。
40	-35.19	1.25	39.90	砂質シルト	暗灰	やや軟らかいもの	砂分を30%程度混り、所々層厚1cm以下の細砂層を挟むシルト。シルト部は有機質を帯び、所々に植物片を混る。含水中位で粘性中位。
41							
42	-37.99	2.80	42.70	シルト混り砂	灰	密な	シルト分を10%程度混る細~中砂。
43	-38.89	0.90	43.60	砂質シルト	暗灰	やや軟らかいもの	砂分を5~20%混るシルト。含水中位で粘性中位。下位に従い砂の混入多くなる。所々に木炭片を混る。
44	-40.09	1.20	44.80	シルト混り砂	灰	密な	シルト分を5%程度混る中~粗砂。均質。
45							
46	-42.19	2.10	46.90	砂質シルト	暗灰	やや軟らかいもの	砂分を20~30%混るシルト。含水中位で粘性中位。
47	-42.84	0.65	47.55	シルト混り砂	灰		シルト分を10%程度混る細砂。
48	-43.29	0.45	48.00	砂混りシルト	暗灰	やや軟らかいもの	砂分を5%程度混るシルト。含水中位で粘性中位。所々に木炭片や植物片を混る。49.95mにピビアナイトを含む。
49							
50	-46.14	2.85	50.85	シルト質砂	灰	中位の	シルト分を20%程度混る細~中砂。全体に含水比が高い。所々に植物片を混る。
51							
52	-49.29	3.15	54.00	礫質砂	灰	密な	最大で径3cm、概ね径1cm程度の亜角~亜円礫を20~30%混る粗砂。少量のシルト分を混る。礫種は安山岩、デイサイト、凝灰岩、花崗岩と雑多であるがいずれも硬質。
53							
54	-51.04	1.75	55.75	砂質シルト	暗灰	固いもの	砂分を20~30%程度混るシルト。含水中位で粘性中位。所々に木炭片を混る。56.6~56.7mにピビアナイトを含む。
55							
56	-52.64	1.60	57.35				
57							
58							
59				砂礫	灰	非常に密な	最大でコア長11cm、概ね2~4cmの亜角~亜円礫を主体とする。礫種は安山岩、デイサイト、凝灰岩、花崗岩と雑多であるがいずれも硬質。基質はシルト分を少量混る中~粗砂。
60							
61							
62	-57.29	4.65	62.00				



ボーリング柱状図

調査名

ボーリングNo 2

事業・工事名

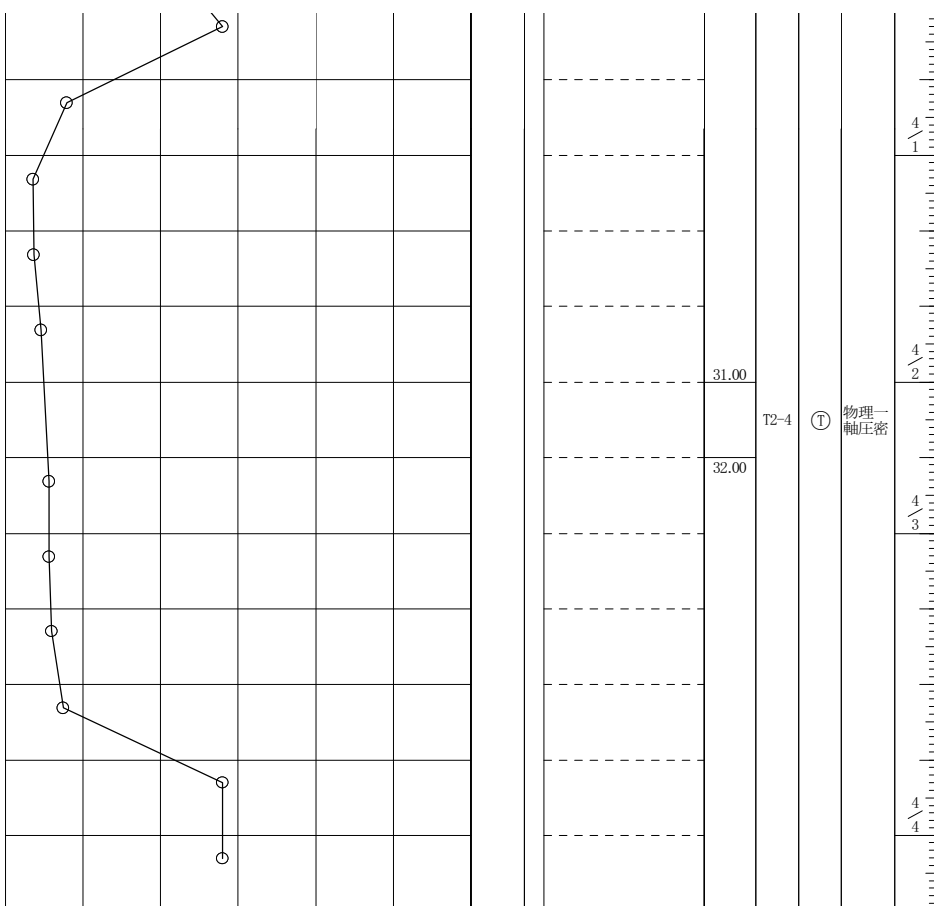
シートNo

ボーリング名	BPN o. 2		調査位置	出雲市西林木町地内			北緯	35° 23' 54.34"				
発注機関	出雲市			調査期間	令和 2年 3月 24日 ~ 2年 4月 5日			東経	132° 46' 24.05"			
調査業者名	主任技師			現場代理人	コア鑑定者			ボーリング責任者				
孔口標高	4.71m	角	180° 上 90° 下 0°	方	北 0° 270° 西 180° 南 90° 東	地盤勾配	鉛直 90° 水平 0°	使用機種	試錐機	鉦研OE-8	ハンマー落下用具	半自動モンケン
総掘進長	37.00m	度	0°	向	180°			エンジン	ヤンマーNFD-9	ポンプ	東邦BG-3	

標尺 (m)	層高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	相対稠度	記	孔内水位 (m) / 測定月日	標準貫入試験					N 値	原位置試験	試験名および結果	試料採取	室内試験 (掘進)			
												深	10cmごとの打撃回数	打撃回数 / 貫入量 (cm)	深	試料採取方法						掘進月日		
4.11	0.60	0.60	0.60		シルト質砂	暗灰	非常に緩い			シルト分を30%程度混る細砂。木片や草根を混る。耕作土。	4/7 0.75	1.15	1/40	0/0	0/0	1/40	1							
2.71	1.40	2.00	2.00		砂質シルト	暗灰	軟らかいもの			砂分を30%程度混るシルト。含水中位で粘性中位。1.80m以深はシルト分少ない。	1.55	2.15	1/15	1/20	0/0	2/35	2							
					砂混りシルト	暗灰	軟らかいもの			砂分を5%程度混るシルト。含水中位で粘性中位。全体に植物片を混る。	2.50	4.00			0/60	0		3.00	T2-1	①	物理一軸圧密			
					シルト混り砂	灰	中位の			シルト分を5~10%混る中~粗砂。所々に、層厚5cm程度の砂質シルト層を挟む。9.50mに木片を混る。	4.60	5.15	1/55	0/0	0/0	1/55	1		4.00					
-1.09	3.80	5.80	5.80		シルト質砂	暗灰	中位の			シルトと粗砂が互層しており、若干砂優勢。シルト部は含水中位で粘性中位。	5.70	6.15	1/15	2/2	5/35	4								
					砂・シルト互層	暗灰	やや軟らかいもの			シルトと細砂が層厚0.5~8cm程度で互層する。若干シルト優勢。細砂は灰色をなし、縞模様をしている。シルト部は含水中位で粘性中位。	6.50	7.15	4/4	5/5	6/15	15								
					シルト	暗灰	やや軟らかいもの			少量の細砂を混る。含水中位で粘性中位。所々に、粘土や粗砂の薄層を挟む。22.7mに木片を挟む。	7.45	8.15	3/3	5/5	7/15	15								
-9.24	8.15	13.95	13.95		シルト質砂	暗灰	中位の			シルトと粗砂が互層しており、若干砂優勢。シルト部は含水中位で粘性中位。	8.45	9.15	3/3	3/3	6/12	12								
-10.09	0.85	14.80	14.80		シルト質砂	暗灰	中位の			シルトと粗砂が互層しており、若干砂優勢。シルト部は含水中位で粘性中位。	9.45	10.15	7/7	6/6	8/21	21								
					砂・シルト互層	暗灰	やや軟らかいもの			シルトと細砂が層厚0.5~8cm程度で互層する。若干シルト優勢。細砂は灰色をなし、縞模様をしている。シルト部は含水中位で粘性中位。	10.15	10.45	6/6	5/5	6/17	17			15.50	T2-2	①	物理一軸圧密		
					シルト	暗灰	やや軟らかいもの			少量の細砂を混る。含水中位で粘性中位。所々に、粘土や粗砂の薄層を挟む。22.7mに木片を挟む。	11.15	11.45	4/4	5/5	6/15	15			16.50					
-14.24	4.15	18.95	18.95		シルト	暗灰	やや軟らかいもの			少量の細砂を混る。含水中位で粘性中位。所々に、粘土や粗砂の薄層を挟む。22.7mに木片を挟む。	12.15	12.45	4/4	5/5	6/15	15								
					シルト	暗灰	やや軟らかいもの			少量の細砂を混る。含水中位で粘性中位。所々に、粘土や粗砂の薄層を挟む。22.7mに木片を挟む。	13.15	13.45	6/6	7/7	8/21	21								
					シルト	暗灰	やや軟らかいもの			少量の細砂を混る。含水中位で粘性中位。所々に、粘土や粗砂の薄層を挟む。22.7mに木片を挟む。	14.15	14.46	5/11	3/3	2/10	10								
					シルト	暗灰	やや軟らかいもの			少量の細砂を混る。含水中位で粘性中位。所々に、粘土や粗砂の薄層を挟む。22.7mに木片を挟む。	15.15	15.45	1/1	1/1	2/4	4			15.50	T2-2	①	物理一軸圧密		
					シルト	暗灰	やや軟らかいもの			少量の細砂を混る。含水中位で粘性中位。所々に、粘土や粗砂の薄層を挟む。22.7mに木片を挟む。	17.15	17.45	2/2	3/3	8/30	8								
					シルト	暗灰	やや軟らかいもの			少量の細砂を混る。含水中位で粘性中位。所々に、粘土や粗砂の薄層を挟む。22.7mに木片を挟む。	18.15	18.45	2/2	2/2	3/7	7								
-18.84	4.60	23.55	23.55		シルト	暗灰	やや軟らかいもの			少量の細砂を混る。含水中位で粘性中位。所々に、粘土や粗砂の薄層を挟む。22.7mに木片を挟む。	19.15	19.47	2/11	2/11	2/6	6								
					シルト	暗灰	やや軟らかいもの			少量の細砂を混る。含水中位で粘性中位。所々に、粘土や粗砂の薄層を挟む。22.7mに木片を挟む。	20.15	20.50	1/12	2/11	2/5	5								
					シルト	暗灰	やや軟らかいもの			少量の細砂を混る。含水中位で粘性中位。所々に、粘土や粗砂の薄層を挟む。22.7mに木片を挟む。	21.15	21.48	1/11	2/12	1/4	4								
					シルト	暗灰	やや軟らかいもの			少量の細砂を混る。含水中位で粘性中位。所々に、粘土や粗砂の薄層を挟む。22.7mに木片を挟む。	23.15	23.47	1/11	2/11	3/6	6								
					シルト	暗灰	やや軟らかいもの			少量の細砂を混る。含水中位で粘性中位。所々に、粘土や粗砂の薄層を挟む。22.7mに木片を挟む。	24.15	24.47	1/12	2/12	3/6	6								
-20.29	1.45	25.00	25.00		火山灰質シルト	明灰	固いもの			非常に均質。締りが良い。低組成。25.8m以浅は、シルト層と混っている。	25.15	25.45	5/5	7/7	8/20	20								
					火山灰質シルト	明灰	固いもの			非常に均質。締りが良い。低組成。25.8m以浅は、シルト層と混っている。	26.15	26.45	9/9	10/9	9/28	28								
-22.29	2.00	27.00	27.00		火山灰質シルト	明灰	固いもの			非常に均質。締りが良い。低組成。25.8m以浅は、シルト層と混っている。	27.00		3/3	2/3	3/8	8								

27	-22.29	2.00	27.00	ト	灰	もの	る。
28							
29							
30							
31				粘土	暗灰	やや軟らかいもの	概ね均質。 含水中位で粘性中位。 全体に貝殻片を少量混る。
32							
33							
34							
35	-29.79	7.50	34.50	砂質シルト	暗灰	やや軟らかいもの	砂分を30%程度混るシルト。 含水中位で粘性中位。 全体に貝殻片を混る。 35.55m以深に木炭片を混る。
36	-31.24	1.45	35.95	シルト混り砂	灰	中位の	シルト分を5~10%混る中砂。 概ね均質。
37	-32.29	1.05	37.00				

26.45				30	28
27.15	3	2	3	8	30
27.45					
28.15	1/11	1/11	2/11	4	33
28.48					
29.15	1	1/11	2/11	4	32
29.47					
30.15	1	2/11	2/11	5	32
30.47					
32.15	2/12	2	2	6	32
32.47					
33.15	2/12	2	2	6	32
33.47					
34.15	2	2	2	6	30
34.45					
35.15	2	3/12	3	8	32
35.47					
36.15	7	9	12	28	30
36.45					
37.15	11	9	8	28	30
37.45					



T2-4 ① 物理一軸圧密

ボーリング柱状図

調査名

ボーリングNo

事業・工事名

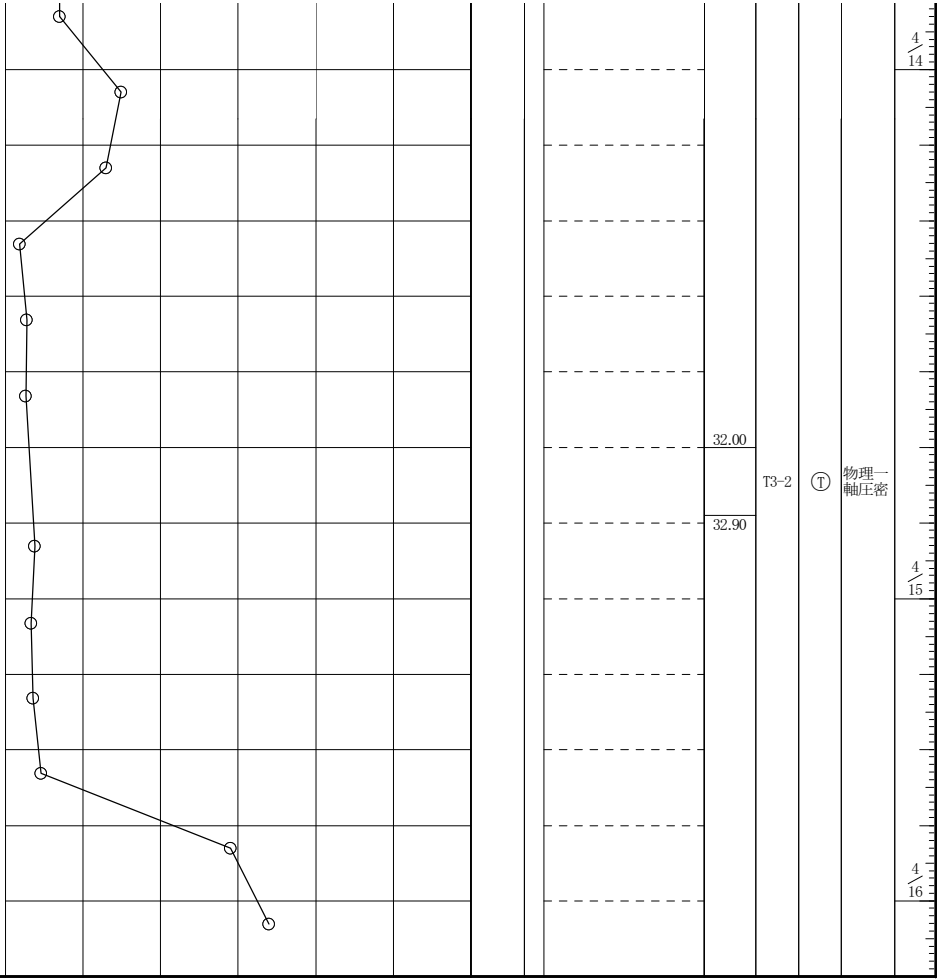
シートNo

ボーリング名	BPN. 3		調査位置	出雲市西林木町地内			北緯	35° 23' 56.32"				
発注機関	出雲市			調査期間	令和 2年 4月 9日 ~ 2年 4月 16日			東経	132° 46' 30.84"			
調査業者名	主任技師			現場代理人	コア鑑定者			ボーリング責任者				
孔口標高	4.78m	角	180° 上 90° 下 0°	方	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	鉛直 90° 水平 0°	使用機種	試錐機	鉦研OE-8	ハンマー落下用具	半自動モンケン
総掘進長	38.00m	度	0°	向				エンジン	ヤンマーNFD-9	ポンプ	東邦BG-3	

標尺 (m)	層高 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	孔内水位 (m) / 測定月/日	標準貫入試験					N 値	原位置試験 深度 (m)	試験名 および結果	試料採取 深度 (m)	採取方法	室内試験 (月/日)	掘進 (月/日)					
										深	10cmごとの打撃回数	打撃回数 / 貫入量 (cm)	0	10								20				
3.98	0.80	0.80		砂質シルト	暗灰			砂分を30~40%程度混るシルト。含水中位で粘性中位。全体に植物片を混じる。耕作土。		1.15	1/30	1/30	1													
2.43	1.55	2.35		砂質シルト	暗灰			砂分を20~30%程度混るシルト。含水中位で粘性中位。全体に不均質。		1.45																
1.98	0.45	2.80		シルト混り砂	灰	非常に緩い		シルト分を5~10%程度混る細~粗砂。2.50~2.60mにシルト層を挟み、含水中位で粘性中位。		2.15	1/12	1/8	2/15	4/35												
-0.22	2.20	5.00		砂混りシルト	暗灰		軟らかいもの	砂分を5~10%程度混るシルト。含水中位で粘性中位。所々に木片や植物片を混る。4.80mにビビアナイト化した藍色の植物片層を挟む。		2.50																
-1.17	0.95	5.95		シルト混り砂	灰		中位の	シルト分を5~10%程度混る細~中砂。概ね均質。		4.15	1/23	1/12	2/35													
-1.72	0.55	6.50		砂混りシルト	暗灰		軟らかいもの	砂分を5~10%程度混るシルト。含水中位で粘性中位。		4.50																
-2.22	0.50	7.00		シルト混り砂	暗灰			シルト分を15~20%程度混る細~中砂。		5.15	3/9	5/11	6/14	14/30												
-4.82	2.60	9.60		シルト混り砂	灰		緩い	シルト分を5~10%程度混る細~粗砂。全体に不均質。8.55、8.85mに層厚0.5~4cm程度のシルト層を挟む。9.0~9.4mに木炭片を多く混る。9.4~9.6m間はシルトと砂が0.5cm程度で互層する。		5.45																
-5.22	0.40	10.00		砂質シルト	暗灰			砂分を15~20%程度混るシルト。含水中位で粘性中位。		6.15	1/8	2/14	1/32													
-18.22	13.00	23.00		シルト混り砂	灰		中位の	シルト分を5~10%程度混る細~中砂。11.70mに木炭片を混る。12.90m付近、13.95m付近、14.90m付近、15.85m付近はシルト分をやや多く挟み暗灰色を帯びる。19.45m以深は所々に層厚1~5cm程度の暗褐色シルト層を挟む。このシルト層は含水中位で粘性中位で弱く有機質を帯びる。		6.47	2	3	4	9/30												
-19.22	1.00	24.00		シルト混り砂	灰		緩い	シルト分を5~10%程度混る細~中砂。24.3m付近に木炭片を混る。含水中位で粘性中位。		7.45																
-20.22	1.00	25.00		砂質シルト	暗灰			砂分を20~30%程度混るシルト。含水中位で粘性中位。25.55~25.6m間はシルトと砂が層厚0.5cm以下で互層する。		8.15	3	3/9	4/11	10/30												
-20.92	0.70	25.70		砂質シルト	暗灰			砂分を20~30%程度混るシルト。含水中位で粘性中位。25.55~25.6m間はシルトと砂が層厚0.5cm以下で互層する。		8.45																
				火山灰	明		固い	非常に均質。締りが良い。低組成。		9.15	2/9	2/9	3/13	7/31												
										9.46	3/9	4/9	6/12	13/30												
										10.15	3/9	4/9	6/12	13/30												
										10.45																
										11.15	5	5	4	14/30												
										11.45																
										12.15	6	5	6	17/30												
										12.45																
										13.15	8	8	8	24/30												
										13.45																
										14.15	7	6	6	19/30												
										14.45																
										15.15	5	6	6	17/30												
										15.45																
										16.15	7	7	8	22/30												
										16.45																
										17.15	9	12	13	34/30												
										17.45																
										18.15	10	9	10	29/30												
										18.45																
										19.15	8	8	12	28/30												
										19.45																
										20.15	8	9	8	25/30												
										20.45																
										21.15	7	6	6	19/30												
										21.45																
										22.15	4	4	4	12/30												
										22.45																
										23.15	4	4	5	13/30												
										23.45																
										24.15	4	2	2	8/31												
										24.46																
										25.15	3	2	2	7/30												
										25.45																
										26.15	3	2	2	7/30												
										26.45																
											8	4	3	15/30												

27				火山灰質シルト	明灰	固いもの	非常に均質。締りが良い。低組成。 26.7m以浅は暗灰色シルトと混っており、やや柔らかい。
28	-23.52	2.60	28.30				
29				粘土	暗灰	軟らかいもの	概ね均質。 含水中位で粘性中位。 下位に従い少量の貝殻片を混る。
30							
31							
32							
33							
34							
35	-30.02	6.50	34.80	砂質シルト	暗灰	やや軟らかいもの	砂分を20~30%程度混るシルト。 含水中位で粘性中位。 35.6、36.85mに木片を混る。 35.85m付近に貝殻片を混る。
36							
37	-32.22	2.20	37.00	シルト混り砂	灰	中位の	シルト分を5~10%程度混る細~中砂。 概ね均質。
38	-33.22	1.00	38.00				

26.45				30	7
27.15	8	4	3	15	30
27.45					
28.15	6	4	3	13	30
28.45					
29.15	1/16	1/16		2	32
29.47					
30.15	1	1/11	1/11	3	32
30.47					
31.15	1/9	1/11	1/13	3	33
31.48					
33.15	2/17	1/7	1/7	4	31
33.46					
34.15	1/8	1/9	2/18	4	35
34.50					
35.15	1/9	1/8	2/16	4	33
35.48					
36.15	2/12	1/7	2/13	5	32
36.47					
37.15	7	11	11	29	30
37.45					
38.15	12	11	11	34	30
38.45					



4/14
4/15
4/16

T3-2 ① 物理一軸圧密

ボーリング柱状図

調査名

ボーリングNo 4

事業・工事名

シートNo

ボーリング名	BPN o. 4		調査位置	出雲市西林木町地内			北緯	35° 23' 48.83"						
発注機関	出雲市			調査期間	令和 2年 3月 30日 ~ 2年 4月 4日			東経	132° 46' 29.46"					
調査業者名	主任技師			現場代理人	コア鑑定者			ボーリング責任者						
孔口標高	5.51m	角	180° 上 90° 下 0°	方	北 0° 270° 西 180° 南 90° 東	地盤勾配	鉛直 90° 水平 0°	使用機種	試錐機	鉦研OP-1		ハンマー落下用具	半自動モンケン	
総掘進長	39.00m	度	0°	向				エンジン	ヤンマーNFD9		ポンプ	東邦BG-3		

標尺 (m)	層高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	孔内水位 (m) / 測定月日	標準貫入試験					N 値	原位置試験 深度 (m)	試験名 および結果	試料採取 深度 (m)	採取方法	室内試験 ()	掘進 月日				
											深	10cmごとの打撃回数	打撃回数 / 貫入量 (cm)	0	10								20			
1	4.56	0.95	0.95		シルト質砂	淡褐	非常に緩い		造成盛土。シルト分を30%混る細砂。0.20m以浅はシルト分の混入少ない。	4/7 0.94	1.15	2/8	2/7	0/15	4/30	4										
2	3.01	1.55	2.50		砂質シルト	暗灰		やや軟らかいもの	砂分を30~40%混るシルト。含水中位で粘性中位。		1.45	2	2/9	1/12	5/31	5										
3	1.81	1.20	3.70		シルト混り砂	灰	非常に緩い		シルト分を10~20%混る細~中砂。下位に従いシルト分が多くなる。		2.46	3.15	1/11	1/13	1/11	3/35	3									
4	0.61	1.20	4.90		シルト	暗灰		軟らかいもの	概ね均質なシルト。含水中位で粘性中位。全体に腐植物を混り、暗褐色を帯びる。		3.50															
5					シルト	暗灰					5.15	2/6	3/8	2/16	7/30	7										
6					シルト混り砂	灰		緩い	シルト分を5%程度混る細~中砂。所々に層厚1cm以下のシルト層(木炭片を混る)を挟む。		5.45	6.15	4/3	3/6	4/21	11/30	11									
7	-1.49	2.10	7.00		シルト・砂互層	暗灰		やや軟らかいもの	シルトと細砂が層厚3~15cmで互層する。若干シルト優勢。シルト部は含水中位で粘性中位。		6.45	7.15	1/12	2/6	2/18	5/36	4									
8	-2.44	0.95	7.95		砂混りシルト	暗灰		軟らかいもの	砂分を5~10%混るシルト。含水中位で粘性中位。9.20m以深は中砂をブロック状に挟む。		7.51	8.15	1/20	1	2/30	2										
9	-3.89	1.45	9.40		砂混りシルト	暗灰					8.45															
10					シルト混り砂	灰		中位の	シルト分を5%程度混る細~中砂。11.9mに層厚2cmの木炭片層を挟む。13.55、13.85、14.8、15.55、15.7mに層厚0.5~3cmの有機質シルト層を挟む。14.5mに木片層を挟む。		10.15	9	8	9	26/30	26										
11					シルト混り砂	灰		中位の			10.45	11.15	4	6	8	18/30	18									
12					シルト混り砂	灰		中位の			11.45	12.15	2/9	1/14	3/7	6/30	6									
13					シルト混り砂	灰		中位の			12.45	13.15	2	4	3	9/30	9									
14					シルト混り砂	灰		中位の			13.45	14.15	4	4	3	11/30	11									
15					シルト混り砂	灰		中位の			14.45	15.15	5	6	6	17/30	17									
16					シルト混り砂	灰		中位の			15.45	16.15	6	7	7	20/30	20									
17					シルト混り砂	灰		中位の			16.45	17.15	2	2	2	6/30	6									
18					シルト・砂互層	灰~暗灰		やや軟らかいもの	細砂とシルトが層厚1~15cmで不規則に互層する。若干シルト優勢。シルト部は有機質を帯び、所々に木片や葉片を混る。含水中位で粘性中位。		17.45	18.15	2	2	2	6/30	6									
19					シルト・砂互層	暗灰		やや軟らかいもの			18.45	19.15	3	3	2	8/30	8									
20					シルト・砂互層	暗灰		やや軟らかいもの			19.45	20.15	3	3	3	9/30	9									
21	-15.24	3.25	20.75		シルト	暗灰		やや軟らかいもの	概ね均質なシルト。含水中位で粘性中位。所々に層厚2mm程度の細砂薄層を挟む。		20.45	21.15	2	1	2	5/30	5									
22	-15.94	0.70	21.45		シルト	暗灰		やや軟らかいもの			21.45	22.15	4	7	7	18/30	18									
23	-17.99	2.05	23.50		シルト混り砂	灰		中位の	シルト分を5~10%程度混る中~粗砂。21.7~21.8mに暗灰色のシルト層を混る。22.0~22.7m間は径0.5cm以下の亜角礫を少量混る。		22.45	23.15	3	3	2	8/30	8									
24	-18.94	0.95	24.45		砂混りシルト	暗灰		やや軟らかいもの	シルト層を主体とし、所々に層厚2cm以下の中砂層や層厚0.5cm以下の有機質シルト層を挟む。		23.45															
25	-19.49	0.55	25.00		シルト混り砂	灰		緩い	シルト部は含水中位で粘性中位。シルト分を5%程度混る細~中砂。24.7mに層厚7cmのシルト層を挟む。		24.00	24.45	4	4	3	11/30	11									
26					火山灰層	明灰		固い	非常に均質。締りが良い。低組成。26.0m以浅は暗灰色のシルトを混じ		25.45	26.15	6	7	7	20/30	20									
27					火山灰層	明灰		固い			26.45	3	3	3	9											

ボーリング柱状図

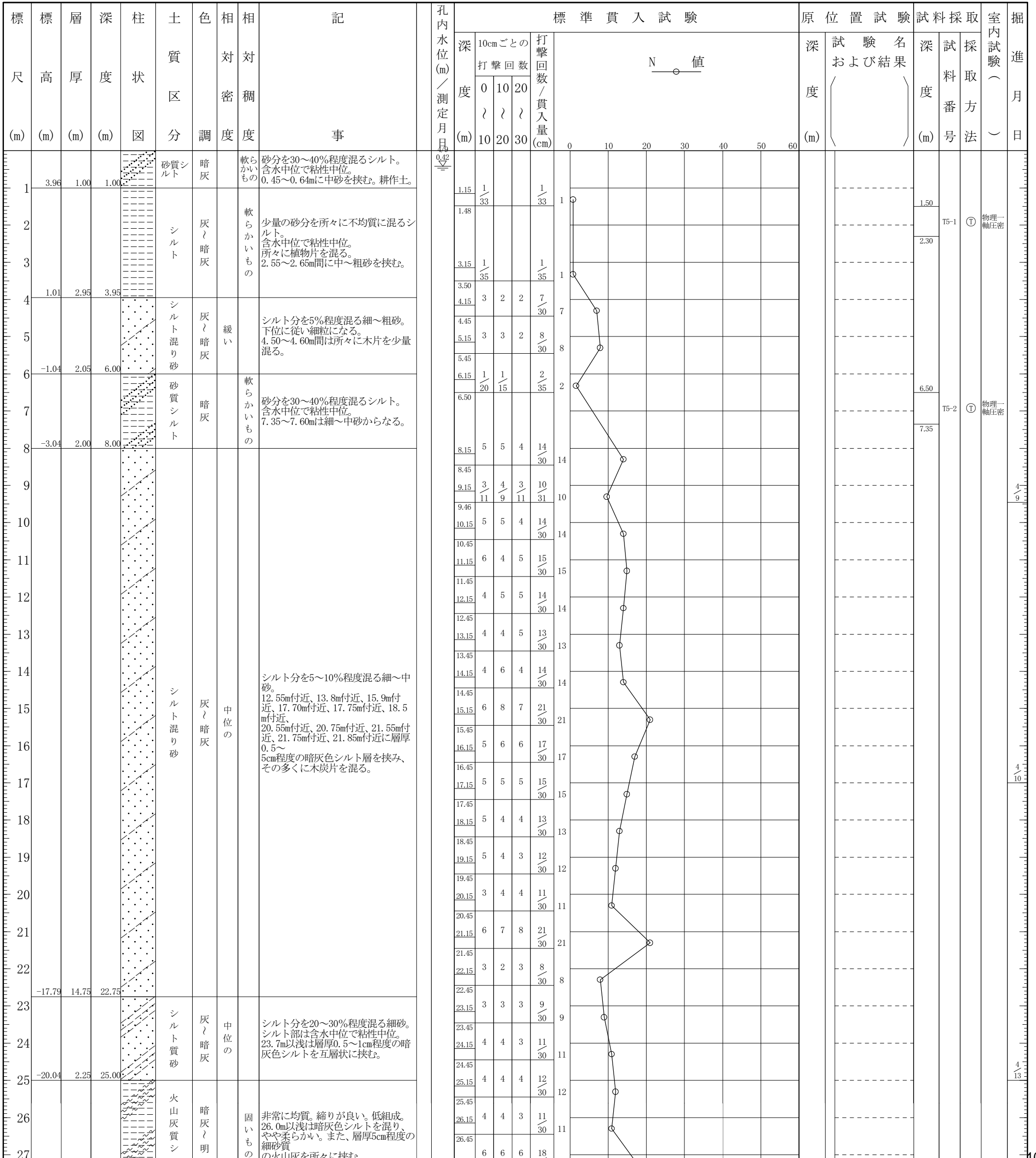
調査名

ボーリングNo									
---------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事業・工事名

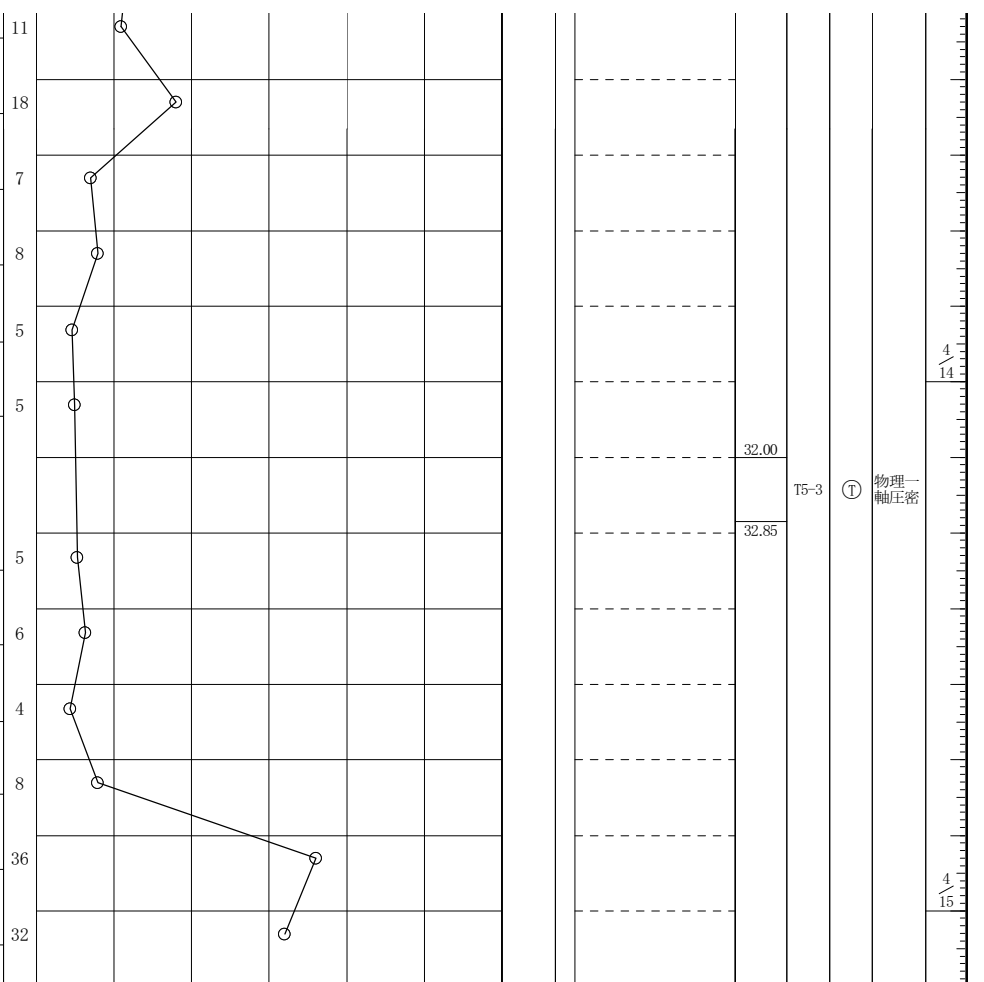
シートNo

ボーリング名	BPN0.5		調査位置	出雲市西林木町地内			北緯	35° 23' 50.36"				
発注機関	出雲市			調査期間	令和 2年 4月 9日 ~ 2年 4月 15日			東経	132° 46' 33.44"			
調査業者名	主任技師			現場代理人	コア鑑定者			ボーリング責任者				
孔口標高	4.96m	角	180° 上 90° 下 0°	方	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	鉛直 90° 水平 0°	使用機種	試錐機	鉦研OP-1	ハンマー落下用具	半自動モンケン
総掘進長	38.00m	度	0°	向				エンジン	ヤンマーNFD9	ポンプ	東邦BG-3	

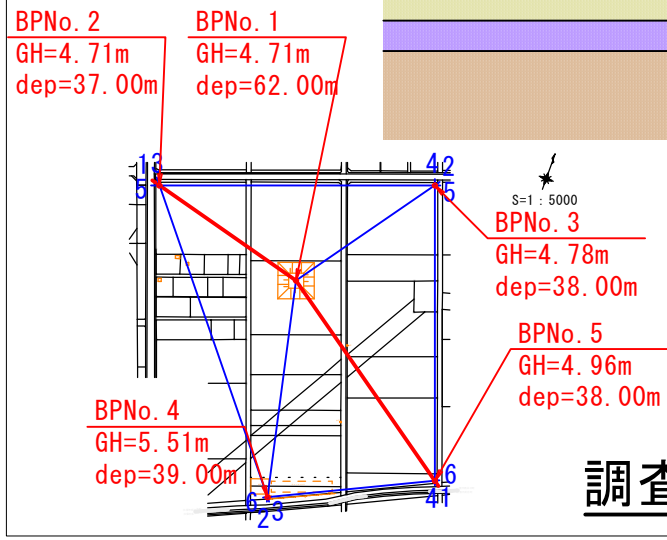
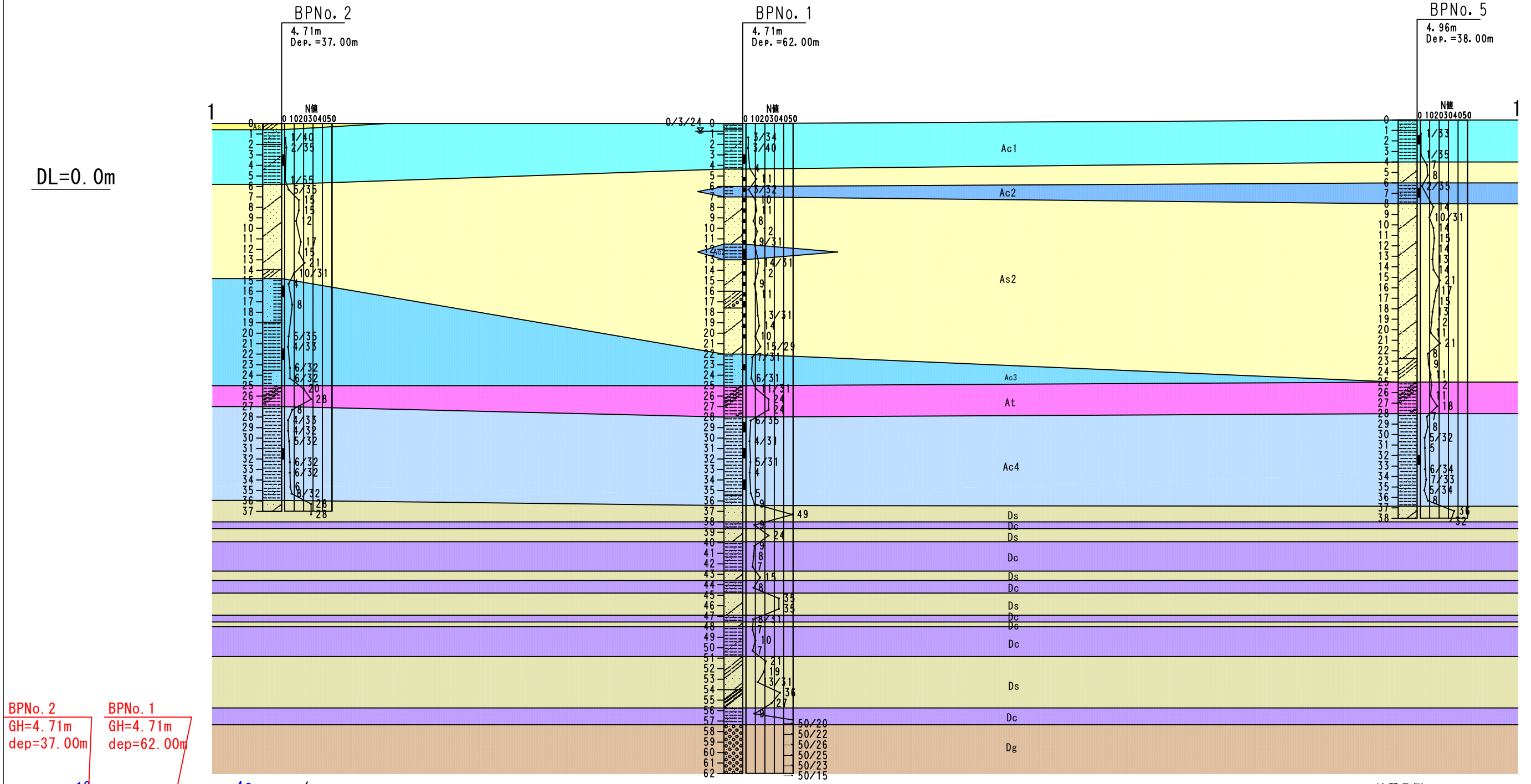


27				灰質シルト	灰 明灰	いもの	26.0m以浅は暗灰色シルトを混り、やや柔らかい。また、層厚5cm程度の細砂質の火山灰を所々に挟む。
28	-23.04	3.00	28.00				
29				粘土	暗灰	やや軟らかいもの	概ね均質。含水中位で粘性中位。
30							
31							
32							
33	-28.74	5.70	33.70	砂質シルト	暗灰	やや軟らかいもの	砂分を30~40%程度混るシルト。含水中位で粘性中位。36.0m以深は貝殻片を多く混る。
34							
35							
36							
37	-31.89	3.15	36.85	シルト混り砂	灰	密な	シルト分を5~10%混る細~中砂。概ね均質。
38	-33.04	1.15	38.00				

26.45				30	11
27.15	6	6	6	18	18
27.45					
28.15	3	2	2	7	7
28.45					
29.15	3	3	2	8	8
29.45					
30.15	2	1	2	5	5
30.47	13	7	12	5	5
31.15	2	2	1	5	5
31.45					
33.15	2	1	3	6	5
33.49	13	6	15	34	5
34.15	2	2	3	7	6
34.48	11	9	13	33	6
35.15	1	2	2	5	4
35.49	8	15	11	34	4
36.15	3	2	3	8	8
36.45					
37.15	11	13	12	36	36
37.45					
38.15	9	11	12	32	32
38.45					



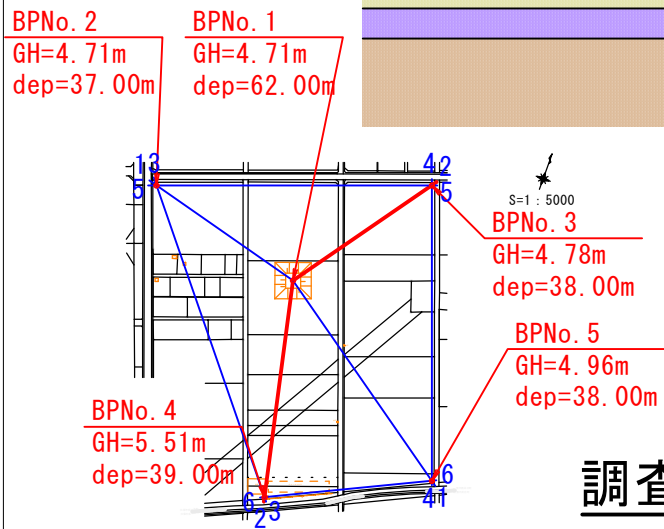
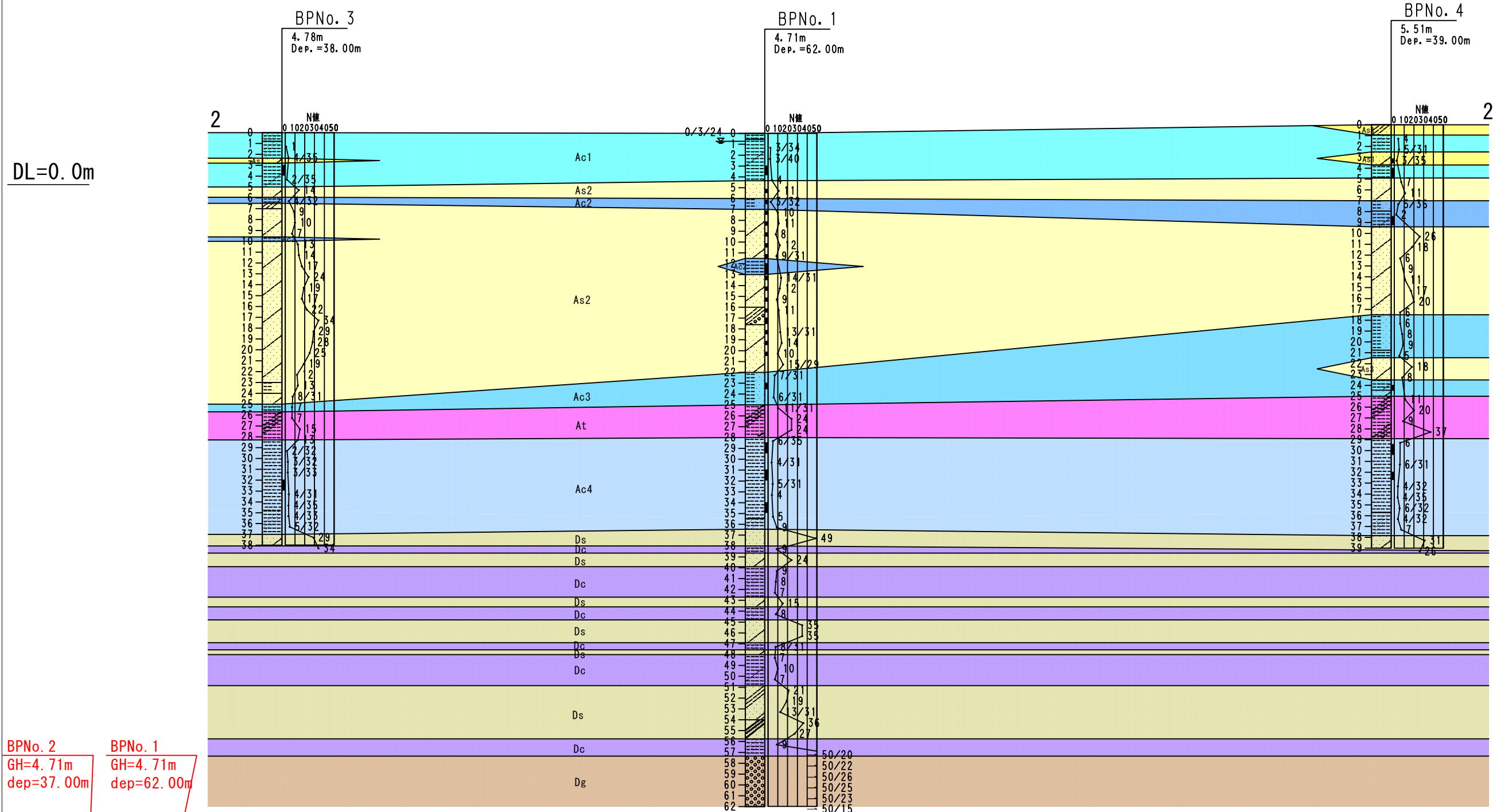
地質断面図



地質凡例

時代	地層区分	記号	N値 (代表値)	主な土質または岩質	記事
更新世	沖積粘性土層1	Ac1	2.1	粘土 ～砂混り粘土	全体に植物片を混る粘性土。 潜水水位で粘性中位。
	沖積砂質土層1	As1	3.0	粘性土質砂	Ac1層に薄く挟まれる細～中砂。 木片や草根を混る。
	沖積砂質土層2	As2	13.6	粘性土混り砂 ～粘性土混り砂	As1直下に厚く堆積する。 所々に層厚0.5～7cm程度の有機質シルト層を挟む。
	沖積粘性土層2	Ac2	2.9	粘土 ～砂混り粘土	BPNos. 1から南北～東方向に分布する粘性土。 As2層に薄く挟まれる。
	沖積粘性土層3	Ac3	6.1	粘土 ～砂混り粘土	所々に砂とシルトの互層状をなす。 全体に不均質である。
	火山灰質土層	At	16.1	火山灰質シルト	非常に均質で締りが良い。 所々に暗灰色シルトを混り、その部分やや柔らかい。
	沖積粘性土層4	Ac4	5.1	粘土 ～砂混り粘土	概ね均質である。 全体に貝殻片を混る。
	洪積砂質土層	Ds	27.9	シルト混り砂 ～礫質砂	所々に植物片を混る細～粗砂。 深度5m以深は最大で径3cmの差角～差円礫を混る。
	洪積粘性土層	Dc	8.2	砂質シルト ～砂混りシルト	全体に植物片と木炭片を混る。 潜水水位で粘性中位である。
	洪積礫質土層	Dg	71.5	砂礫	最大でコア長11cm、概ね2～4cmの差角～差円礫を主体とする。基質はシルト分を少量混る中～粗砂。

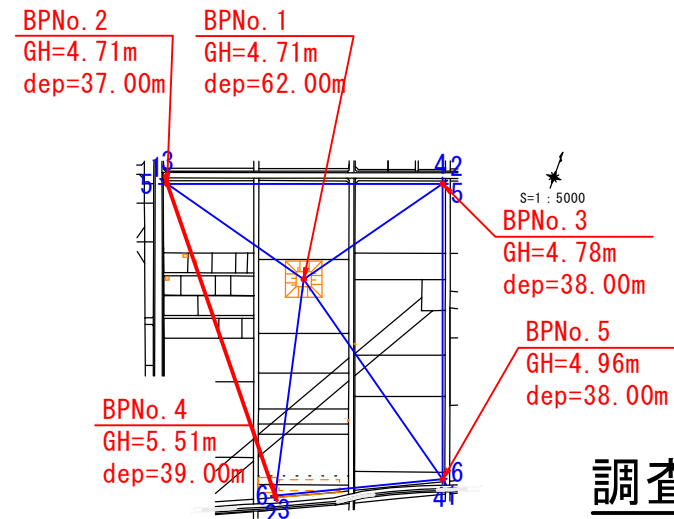
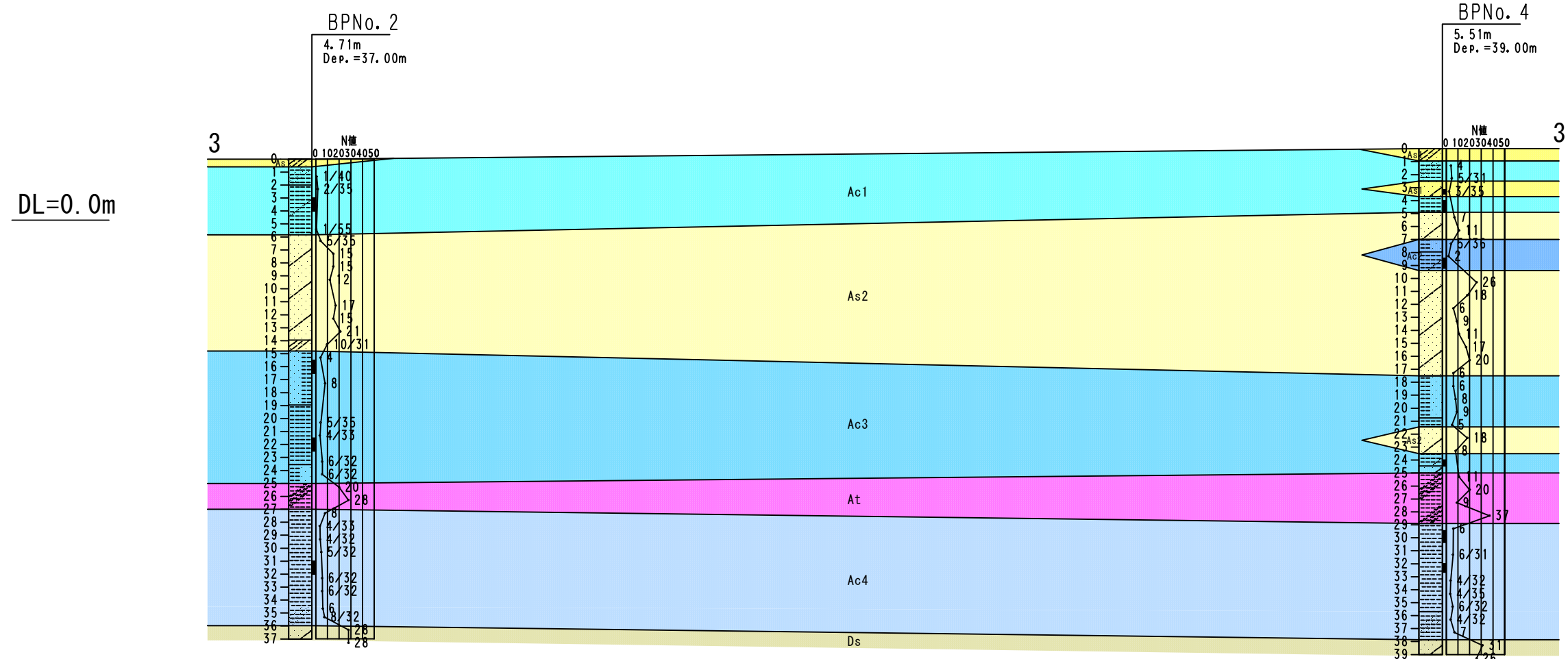
地質断面図



調査位置平面図

時代	地層区分	記号	N値 (代表値)	主な土質または岩質	記 事
更新世	沖積粘性土層1	Ac1	2.1	粘土 ～砂混り粘土	全体に植物片を混る粘性土。 潜水水位で粘性中位。
	沖積砂質土層1	As1	3.0	粘性土質砂	Ac1層に薄く挟まれる細～中砂。 木片や草根を混る。
	沖積砂質土層2	As2	13.6	粘性土混り砂 ～粘性土硬混り砂	As1直下に厚く堆積する。 所々に層厚0.5～7cm程度の有機質シルト層を挟む。
	沖積粘性土層2	Ac2	2.9	粘土 ～砂混り粘土	BPNos. 1から南北～東方向に分布する粘性土。 As2層に薄く挟まれる。
	沖積粘性土層3	Ac3	6.1	粘土 ～砂混り粘土	所々に砂とシルトの互層状をなす。 全体に不均質である。
	火山灰質土層	At	16.1	火山灰質シルト	非常に均質で練りが良い。 所々に暗灰色シルトを混り、その部分はやや柔らかい。
	沖積粘性土層4	Ac4	5.1	粘土 ～砂混り粘土	概ね均質である。 全体に貝殻片を混る。
	洪積砂質土層	Ds	27.9	シルト混り砂 ～硬質砂	所々に植物片を混る細～粗砂。 深度5m以深は最大で径3cmの歪角～歪円礫を混る。
	洪積粘性土層	Dc	8.2	砂質シルト ～砂混りシルト	全体に植物片と木屑片を混る。 潜水水位で粘性中位である。
	洪積礫質土層	Dg	71.5	砂礫	最大でコア長11cm、概ね2～4cmの歪角～歪円礫を主体とする。基質はシルト分を少量混る中～粗砂。

地質断面図

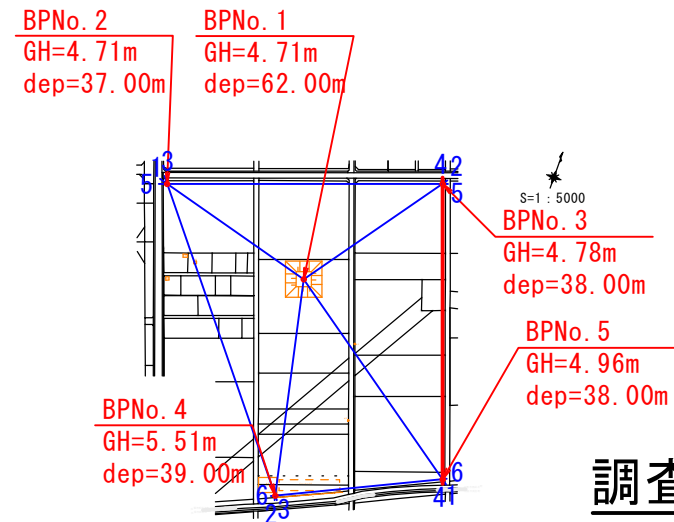
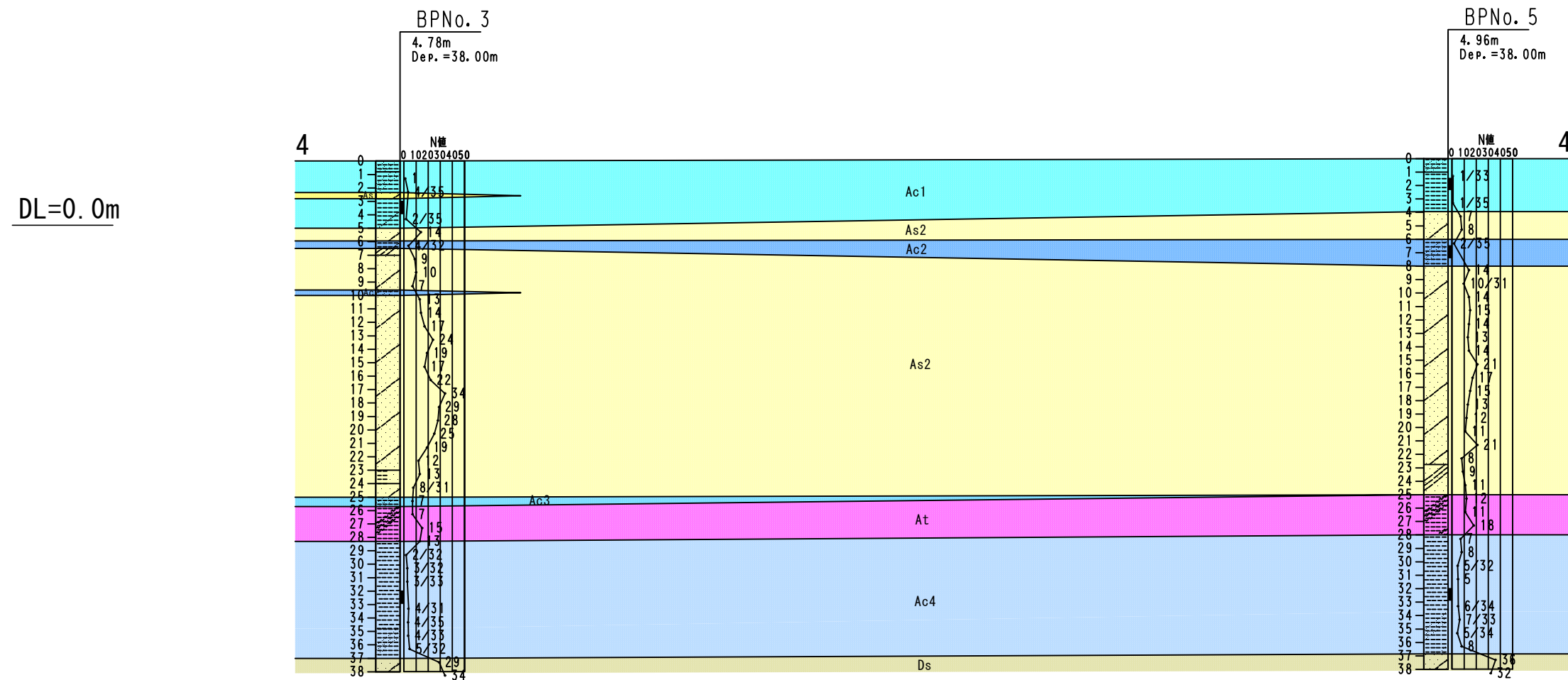


調査位置平面図

地質凡例

時代	地層区分	記号	N値 (代表値)	主な土質または岩質	記事
更新世	沖積粘性土層1	Ac1	2.1	粘土 ～砂混り粘土	全体に植物片を混る粘性土。 潜水水位で粘性中位。
	沖積砂質土層1	As1	3.0	粘性土質砂	Ac1層に薄く挟まれる細～中砂。 木片や草根を混る。
	沖積砂質土層2	As2	13.6	粘性土混り砂 ～粘性土硬混り砂	As1直下に厚く堆積する。 所々に層厚0.5～7cm程度の有機質シルト層を挟む。
	沖積粘性土層2	Ac2	2.9	粘土 ～砂混り粘土	BPNos. 1から南北～東方向に分布する粘性土。 As2層に薄く挟まれる。
	沖積粘性土層3	Ac3	6.1	粘土 ～砂混り粘土	所々に砂とシルトの互層状をなす。 全体に不均質である。
	火山灰質土層	At	16.1	火山灰質シルト	非常に均質で締りが良い。 所々に暗灰色シルトを混り、その部分やや柔らかい。
	沖積粘性土層4	Ac4	5.1	粘土 ～砂混り粘土	概ね均質である。 全体に貝殻片を混る。
	洪積砂質土層	Ds	27.9	シルト混り砂 ～硬質砂	所々に植物片を混る細～粗砂。 深度5m以深は最大で径3cmの差角～差円礫を混る。
	洪積粘性土層	Dc	8.2	砂質シルト ～砂混りシルト	全体に植物片と木炭片を混る。 潜水水位で粘性中位である。
	洪積礫質土層	Dg	71.5	砂礫	最大でコア長11m、概ね2～4cmの差角～差円礫を主体とする。基質はシルト分を少量混る中～粗砂。

地質断面図

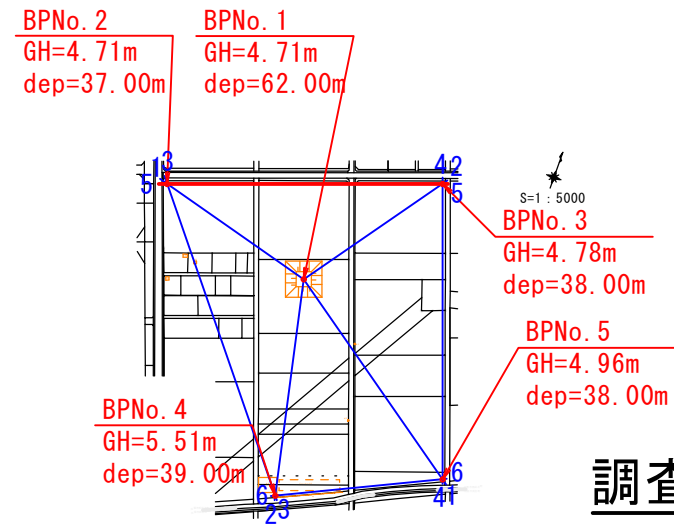
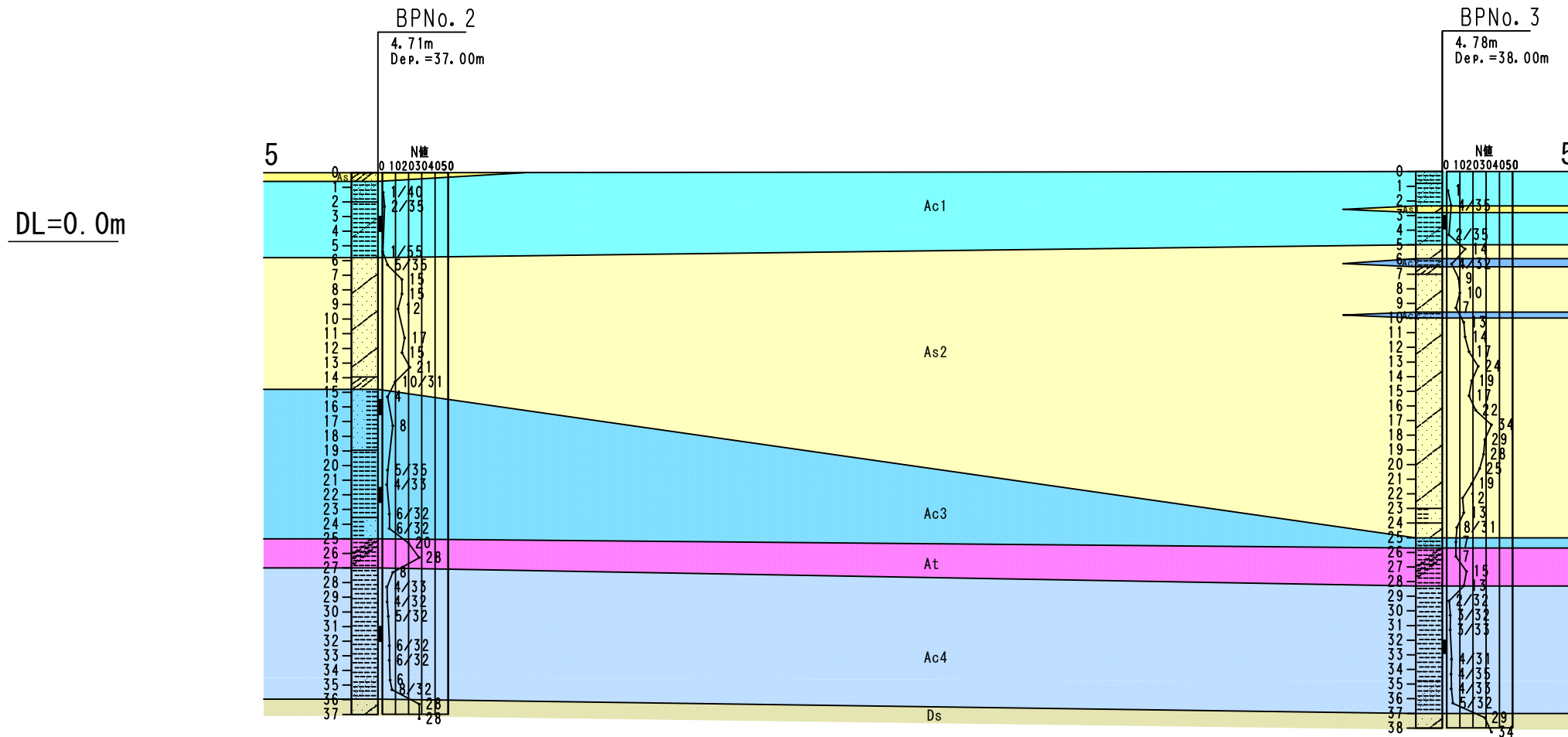


調査位置平面図

地質凡例

時代	地層区分	記号	N値 (代表値)	主な土質または岩質	記事
更新世	沖積粘性土層1	Ac1	2.1	粘土 ～砂混り粘土	全体に植物片を混る粘性土。 潜水水位で粘性中位。
	沖積砂質土層1	As1	3.0	粘性土質砂	Ac1層に薄く挟まれる細～中砂。 木片や草根を混る。
	沖積砂質土層2	As2	13.6	粘性土混り砂 ～粘性土硬混り砂	As1直下に厚く堆積する。 所々に層厚0.5～7cm程度の有機質シルト層を挟む。
	沖積粘性土層2	Ac2	2.9	粘土 ～砂混り粘土	BPNos. 1から南北～東方向に分布する粘性土。 As2層に薄く挟まれる。
	沖積粘性土層3	Ac3	6.1	粘土 ～砂混り粘土	所々に砂とシルトの互層状をなす。 全体に不均質である。
	火山灰質土層	At	16.1	火山灰質シルト	非常に均質で締りが良い。 所々に暗灰色シルトを混り、その部分やや柔らかい。
	沖積粘性土層4	Ac4	5.1	粘土 ～砂混り粘土	概ね均質である。 全体に貝殻片を混る。
	洪積砂質土層	Ds	27.9	シルト混り砂 ～礫質砂	所々に植物片を混る細～粗砂。 深度5m以深は最大で径3cmの遊角～重円礫を混る。
	洪積粘性土層	Dc	8.2	砂質シルト ～砂混りシルト	全体に植物片と木屑片を混る。 潜水水位で粘性中位である。
	洪積礫質土層	Dg	71.5	砂礫	最大でコア長11cm、概ね2～4cmの遊角～重円礫を主体とする。基質はシルト分を少量混る中～粗砂。

地質断面図



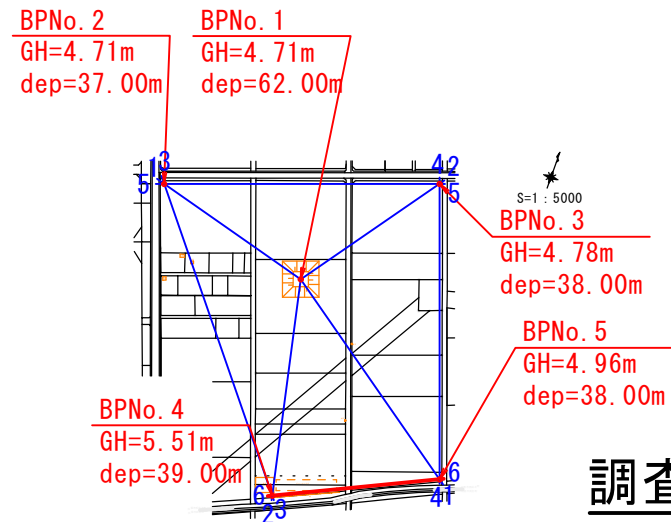
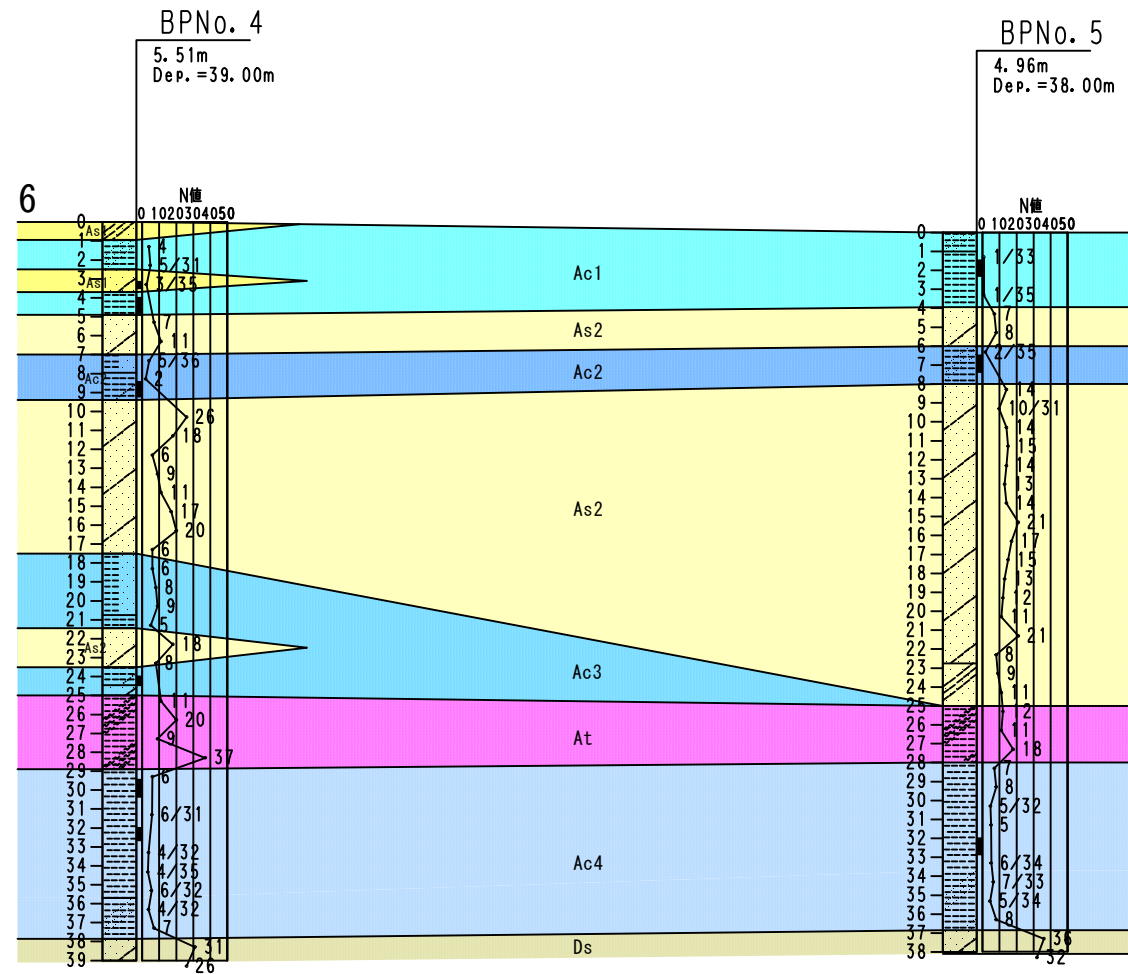
調査位置平面図

地質凡例

時代	地層区分	記号	N値 (代表値)	主な土質または岩質	記事
更新世	沖積粘性土層1	Ac1	2.1	粘土 ～砂混り粘土	全体に植物片を混る粘性土。 潜水水位で粘性中位。
	沖積砂質土層1	As1	3.0	粘性土質砂	Ac1層に薄く挟まれる細～中砂。 木片や草根を混る。
	沖積砂質土層2	As2	13.6	粘性土混り砂 ～粘性土硬混り砂	As1直下に厚く堆積する。 所々に層厚0.5～7cm程度の有機質シルト層を挟む。
	沖積粘性土層2	Ac2	2.9	粘土 ～砂混り粘土	BPNos. 1から南北～東方向に分布する粘性土。 As2層に薄く挟まれる。
	沖積粘性土層3	Ac3	6.1	粘土 ～砂混り粘土	所々に砂とシルトの互層状をなす。 全体に不均質である。
	火山灰質土層	At	16.1	火山灰質シルト	非常に均質で締りが良い。 所々に暗灰色シルトを混り、その部分やや柔らかい。
	沖積粘性土層4	Ac4	5.1	粘土 ～砂混り粘土	概ね均質である。 全体に貝殻片を混る。
	洪積砂質土層	Ds	27.9	シルト混り砂 ～硬質砂	所々に植物片を混る細～粗砂。 深度5m以深は最大で径3cmの歪角～歪円礫を混る。
	洪積粘性土層	Dc	8.2	砂質シルト ～砂混りシルト	全体に植物片と木炭片を混る。 潜水水位で粘性中位である。
	洪積礫質土層	Dg	71.5	砂礫	最大でコア長11cm、概ね2～4cmの歪角～歪円礫を主体とする。基質はシルト分を少量混る中～粗砂。

地質断面図

DL=0.0m



調査位置平面図

地質凡例

時代	地層区分	記号	N値 (代表値)	主な土質または岩質	記事
更新世	沖積粘性土層1	Ac1	2.1	粘土 ～砂混り粘土	全体に植物片を混る粘性土。 潜水中で粘性中位。
	沖積砂質土層1	As1	3.0	粘性土質砂	Ac1層に薄く挟まれる細～中砂。 木片や草根を混る。
	沖積砂質土層2	As2	13.6	粘性土混り砂 ～粘性土硬混り砂	As1直下に厚く堆積する。 ～粘性土硬混り砂
	沖積粘性土層2	Ac2	2.9	粘土 ～砂混り粘土	BPN0.1から南北～東方向に分布する粘性土。 As2層に薄く挟まれる。
	沖積粘性土層3	Ac3	6.1	粘土 ～砂混り粘土	所々に砂とシルトの互層状をなす。 全体に不均質である。
	火山灰質土層	At	16.1	火山灰質シルト	非常に均質で締りが良い。 所々に暗灰色シルトを混り、その部分やや柔らかい。
	沖積粘性土層4	Ac4	5.1	粘土 ～砂混り粘土	概ね均質である。 全体に貝殻片を混る。
	洪積砂質土層	Ds	27.9	シルト混り砂 ～硬質砂	所々に植物片を混る細～粗砂。 深度5m以下は最大で径3cmの差角～差円礫を混る。
	洪積粘性土層	Dc	8.2	砂質シルト ～砂混りシルト	全体に植物片と木炭片を混る。 潜水中で粘性中位である。
	洪積礫質土層	Dg	71.5	砂礫	最大でコア長11cm、概ね2～4cmの差角～差円礫を主体とする。基質はシルト分を少量混る中～粗砂。